

みんなの議会

おおさと

NO.195

定例会



町花：つつじ

安全安心な
美味しさにこだわった仙台牛

2019 令和元年8月1日
宮城県大郷町議会

2 6月補正予算
4 条例改正

6 一般質問
16 第3回議会報告会

19 追跡レポート
その後どうなった

物産館西側 駐車場購入に 8000万円



8000万円 土地購入費

その他の補正予算

- 樹木伐採業務（吉ヶ沢地区内） 220万円
- 測量設計業務（防火水槽2箇所） 124万円
- 土地境界確定測量業務 252万円
- 環境整備事業費補助 分館整備 238万円
- 施設設備改修工事費（給食センター改修工事） 217万円
- 強い農業・担い手づくり 総合支援交付金 437万円
- 森林環境整備基金積立 141万円

特別会計補正予算

- 国民健康保険特別会計 国保システム改修業務 275万円
- 介護保険特別会計 介護保険システム改修業務 165万円

- 問** 土地購入費の積算の根拠は。
答 財政課長 基準土地価格いわゆる鑑定価格に面積をかけた数字となっている。
問 駐車場工事費などの根拠は。
答 地域整備課長 工程ごとの数量をいただき、公共工事の積算に置き換えて概算の工事費を算出した。
問 厚さ、材料の調査が必要では。
答 地域整備課長 業者から材料の品質承諾書、及び施工状

- 況の写真により確認している。
問 駐車場に大型車は入れないのか。
答 町長 大変混雑する恐れがあり、利用者の安全面から見ても駐車させない方が良いと思う。
答 地域整備課長 町道側の側溝が大型車仕様になっていない。
問 駐車場の今後のイベントの計画は。
答 町長 町のさまざまな催し物、また近隣施設の催し物にも活用していただく。

6月定例会が6月4～8日まで開催され、一般会計は1億7359万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ、総額47億7159万2千円となりました。主なものは駐車場購入費などです。

618万円 開発センター施設等修繕工事



- 問** 開発センター施設等修繕工事の内容は。
答 農政商工課長 玄関ロビーの修繕と、事務室、情報通信室の空調設備工事である。

693万円 子ども・子育て支援システム改修業務



- 問** 認定こども園に移行した場合、2号認定の共同の時間帯から外れた保育時間も無償になるのか。
答 学校教育課長 無償になる。

4302万円 認定こども園移行に伴う施設設備改修工事等



- 問** 完璧にした状態で民間に譲渡するのか。
答 学校教育課長 県の審査に必要な施設整備を行う。

933万円 低所得者、子育て世帯へのプレミアム商品券発券事務経費



- 問** システムの委託業務の内容は。
答 保健福祉課長 対象者抽出から商品券発行管理まで行うシステム導入を予定している。

賛成 高橋重信議員
工期等を勘案して、西側駐車場が民間主導での建設となったが、当該土地の相場を考慮すると安価である。

反対 大友三男議員
地方債が増えている状況下、駐車場購入費に基金を取り崩し財源にしている。一向に行政改革に取り組んでいるとは認められない。

反対 千葉勇治議員
町は直接的に施工の確認作業をしていない。まだこの内容を検討するのに時間が必要であり、購入するのは早すぎると判断し反対する。

一般会計補正予算
賛成多数で可決

地域経済索引事業促進区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

期間を令和3年3月31日まで延長。

請願

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書

【請願者】
仙台民主商工会
会長 三戸部 尚一

総務産業常任委員会に付託した結果、「不採択とすべきもの」との審査結果の報告があった。これに基づき本会議で採決した結果、不採択となった。

問 委員会ではどのような意見が出されたか。
答 消費税の目的が、幼稚園・保育園の無償化などの財源とすることである。また本年度予算の中に反映されているので不採択という意見があった。

議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	熱海文義	石川壽和	若生寛	赤間滋	和賀直義	高橋重信	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦
6月定例会	専決処分の承認を求めることについて(介護保険条例の一部を改正する条例)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	専決処分の承認を求めることについて(税条例等の一部を改正する条例)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	専決処分の承認を求めることについて(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	専決処分の承認を求めることについて(地域経済索引事業促進区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告	繰越明許費繰越計算書について	報告のみ														
	繰越明許費繰越計算書について	報告のみ														
条例改正	森林環境整備基金条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	心身障害者医療費の助成に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
補正予算	一般会計補正予算(第1号) 47億7159万円(1億7359万円↑)	可	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	-
	国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 8億5686万円(275万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険特別会計補正予算(第1号) 10億5940万円(165万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-

(↑)は増額、(↓)は減額

可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

6月定例会 条例改正

専決処分した4件の条例改正の承認、条例の制定1件、条例の一部改正1件を審議し、全て原案どおり、承認・可決しました。

介護保険条例の一部を改正する条例

10月の消費税引き上げに伴う、町民税非課税世帯で低所得者の介護保険料を軽減。

段階	現行(年額)	平成31年4月~(年度)
第1段階 収入80万円以下	33,480円	27,900円
第2段階 収入80~120万円	55,800円	46,500円
第3段階 収入120万円超	55,800円	53,940円

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

課税限度額の医療分が58万円から61万円に、及び軽減判定所得の見直し。

	変更前	変更後
5割軽減	33万円+27.5万円×被保険者数	33万円+28万円×被保険者数
2割軽減	33万円+50万円×被保険者数	33万円+51万円×被保険者数

税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の改正に伴い、エコカー減税の軽減割合等の見直しの改正。

「森林環境整備基金条例」の制定

今年度より譲与が開始される森林環境譲与税、これを積み立て運用するための基金を設置する。

「心身障害者医療費の助成に関する条例」の一部改正

助成対象者に精神障害者1級を新たに加える。



和賀 直義 議員

健康寿命の延伸を

介護・閉じこもり予防を図る(町長)

問 人生100年時代を迎え、加齢に伴う虚弱化(フレイル)を遅らせ、「健康寿命」の延伸を図ることが重要だ。高齢者健診に生活機能評価項目(低栄養、休まず歩ける距離、歩行速度、片足立ち、人とのつながりなど)を追加すべきだ。

答 町長 来年度からフレイルなど高齢者特有の健康状態を把握する項目に変更していく。

問 楽しく取り組み、毎日記入できる「健康応援手帳」を作成し、配布できないか。

答 町長 日常生活の経過状況などを把握する意味で有効と考えられるので検討していく。

問 水泳などのできる町外の施設と協定を結び、補助をする制度を。



佐藤千加雄 議員

「空き地・空き家バンク」の活用を

住宅地を提供し人口増につなげる(町長)

問 「空き地・空き家バンク」今後の取り組みは。

答 町長 遊休不動産や耕作放棄地などの情報を集約し、宅地を求める方々に提供し、人口増につなげて行く。

問 空き地・空き家の現状把握をきめ細かく実施すべきでは。

答 まちづくり政策課長 今回設立した公民連携の協議会などと検討していく。また各地区に出向き事業を理解いただくよう努める。

問 公民連携による地方創生事業の概要は。

答 町長 8団体と町で大郷町地方創生推進連絡協議会を設立した。協議会では不動産活用プロジェクトなど3事業を中心に取り組む。

問 これまで協議会へ、空き地などの相談物件、町外

からの問い合わせは。

答 まちづくり政策課長 4月以降町内外から数件の問い合わせや物件の申し込みがある。現在台帳の整理等の情報集約を図っている。

町のブランド化の推進を

問 町のブランド化に向けた、広報活動を。

答 町長 メディアの活用を図りながら、企業誘致活動や県各種団体などの連携により、PRできる体制作りを努めていく。

一般質問

「ふれあい号」のさらなる周知を

問 「ふれあい号」の運行状況は。

答 町長 利用者は1日6人程度。7月から75歳以上は誰でも利用できるようにし、試行期間を9月末から今年度末まで延長した。

問 「ふれあい号」運行のさらなる周知徹底と、利用者の意見集約を早急に。

答 まちづくり政策課長 各分館に出向き、登録会などを開催予定。

農業後継者対策を

問 農業後継者対策をどのように進めていくのか。

答 町長 地域農業の考え方に新しいニーズを求めて行くのが理想ではないか。新しい農業家を育てていく。

問 後継者が町に残れる環境にある今、小・中学生に新規就農のイベントを。

答 農政商工課長 イベントで農家、農業の魅力を伝えられるよう今後検討する。

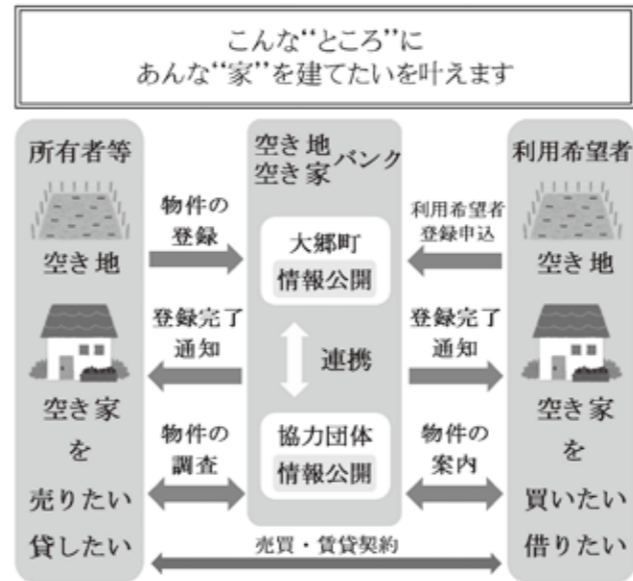
問 全国の新規就農を望む人たちに大郷に来てもらえるよう「全国移住ナビ」の活用を。

答 農政商工課長 今後掲載の方法等確認していく。

石綿セメント管更新の早期完了を

問 有収率が近年大幅に低下している。更新事業の早期完了に向け、事業推進の再度構築を。

答 町長 抜本的な事業計画を新しい事業部門と地域整備課との協議を深めながら進める。



通学路や散歩道の安全対策強化を

問 全国的に歩行者が犠牲になる痛ましい事故が続いている。親にとって、通学で一番心配なのは交通事故だ。園児・児童が散歩等で日常的に利用する道路の点検を行ったのか。

答 町長 通学路の安全確認をおこなっており、今年も実施する。改善が必要な箇所は関係機関に働きかけ

高齢者の「足」確保を

問 高齢者の免許自主返納を促すため、交通機関の割引の特典(終身無料乗車券)などの付与ができないか。

答 町長 住民バス運賃の5割を減免する制度を、運転免許証を返納した65歳以上の方にも適用している。



▲スポーツで健康アップと若返り

問 「生活の足」として高齢の方に、先進安全自動車(ASV※)の購入支援をする考えはないか。

答 町長 運転に不安を持つ方には、住民バスやふれあい号を利用していただく。

他に、認定こども園へのスムーズな移行について質問しました。

※1 ASV: 自動ブレーキ、ペダル踏み間違え時の急加速を防ぐ機能搭載車



石川 壽和 議員

外国人就労者の受け入れ対応策は

雇用先企業の協力体制を確保する(町長)

問 現在、外国人登録者は何名か伺う。

答 町長 平成31年4月30日現在で78名である。

問 これまでトラブルはあったのか、あったのであれば、内容と、どう対処したのか伺う。

答 町長 ごみの出し方が徹底されていないことがあったが、企業へ申し入れを行い、以降は改善した。

問 今後、大松沢の農業法人3社で、200名を超える雇用が生まれると聞いている。外国人就労者が増える予想され、ごみの分別出し方等どう対応するのか伺う。

答 町長 現在、企業のコーデイネーターや通訳を通して指導している。



熱海 文義 議員

停留所に待合室の設置を

ガラス張りのものを検討(町長)

問 道の駅の住民バス停留所に待合所を設置すべきではないか。

答 町長 乗り降りする場所などを考慮すると、日中は開発センターロビーを使用してもらいたい。もし今後待合所を作る場合は、運転手とバス利用者の双方から見えやすい、透明性の高い全面ガラス張りのものを検討していきたい。



物産館2階の活用を

問 これまで場所だけを提供し、食事は仕出しなどを考えているとのことだが、改める考えはあるか。

答 町長 現段階では、既存の厨房設備、スタッフでの対応は難しいため、縁の郷を含め、仕出しの対応が可能な町内及び近隣市町村の事業者を紹介しながら対応していきたい。



▲雨・風がしのげる待合室を早急に!

問 2階へ上がる手段が階段しかなく、耐震的に使用できないエレベーターを今後どうしていくのか。

答 町長 現在は、経営者が変わったので、和室を利用して町内の方々が小宴会をできるように、時間をかけないでやらせたいと考えている。

問 養蜂でロイヤルゼリーを生産する企業が立地することだが、どこまで進んでいるのか。

縁の郷周辺への企業立地は

答 町長 現在2階の利用の主なものは、キッズスペースとなつている。道の駅が終了する18時以降の2階への通路を外階段にし、その階段をもう少し緩やかなものにできないかということ、エレベーターの改修やその必要性を併せて、経営者や専門家等の意見を踏まえつつ調査し、検討していきたい。

先月から、事業者が土橋地区に養蜂箱を設置し、河川の四季の花などの調査をミツバチを使い、町内での蜜の採取状況等の環境調査を行っている。調査に関しては、冬越し手前の秋ごろまでの見込みである。

一般質問

問 道の駅おさと産直品の売り上げが伸びてないと思うが所見を伺う。

道の駅おさとリニューアル後の売り上げは

答 町長 他の品目に比べ産直品の売り上げ伸び率が低いと認識している。

問 道の駅の良し悪しは、野菜の品揃え、陳列が全てと言っても過言ではない。品目毎の陳列、品切れを減らす、品質管理、開店までに陳列を終わらせる等をクリアすれば、売り上げ増につなげると考えるが。

答 町長 品揃え、在庫管理が行き届かないこともあった。産直友の会で、新会長の下、改めて課題の洗い出しや会員間での共有を図り、栽培や販売などの技術

問 井ヶ田製茶の商品を買い取りにした理由を伺う。

答 農政商工課長 委託販売と比較して利益率が高いということである。さらには、公社が商品売り切り力を養うという意味もある



▲操業間近の(株)東北アグリヒト

問 優秀な人材を2人雇うとのことであるが、公社の経営的に大丈夫か伺う。

答 町長 収支のバランスがとれないところで、経営が成り立たないことは十分承知している。本人も我々にもそれは社会の通例であると考える。



若生 寛 議員

進入路整備の進捗状況は

とりあえず歩行者の安全確保を(町長)

問 大窪城址公園進入路整備の進捗状況は。

答 町長 除草作業を実施した。道幅については大変狭く不便をかけている。拡幅事業は大変困難であるので、とりあえず歩行者などの安全確保に努める。

問 一昨年の私の一般質問に「地元の方々と地形を理解し、迂回路等状況を見て何らかの手を打ちたい」と答弁しているが、その後の動きは。

答 町長 整備をするには相当の予算も伴うので、地域の皆さんの意見を聞きながら前向きな議論をしていく。町の文化財としてしっかりととした整備を進めていく。



▲多くの方に来てほしい「大窪城址公園」



高橋 重信 議員

ひとり親の雇用について

多くの企業誘致に向け努力する(町長)

問 本町は、他の町村と違い企業が少なく雇用先が乏しい。ひとり親家族が安心して暮らせるように、雇用先の確保に企業誘致が必要である。町長の所見を伺う。

答 町長 ひとり親世帯に限らず、雇用先の確保に1社でも多くの企業の誘致と立地企業に対して、町内雇用を働きかけていく。



▲長い給水管の費用助成を

高崎団地の造成について

問 宅地分譲工事20区画、約2億円、坪単価14万3千円。(本町の相場は4万7万円と考える)赤字ありきの事業をこのまま不問として良いのか、しっかりと調査を行うべきである。町長の所見を伺う。

答 町長 事業内容など説明し理解を得た中で実施しているもので、改めて町民に説明は考えていない。すでに20区画のうち16区画が販売完了しており、残りの4区画についても職員が販売促進をしている。議員も早く、完売するように努力していただきたい。

町の給水管設置で移住定住を図るべき

問 本町は、本管から台所まで給水管の長さが数百メートルもあり管の細い所は水圧が低い。土地を譲り、住まいにと促すが給水管設置の距離が長い、管の老朽化更新の検討により、他の

町村に移り住む人が多い。移住定住を図るために、給水管設置費用の助成を提案する、町長の所見を伺う。

答 町長 条例は、配水管から利用者に供給する分岐した管工事費等の全てが使用者の負担、それを「受益者負担を少なくしてくれ」ということなのか。検討していきたい。

役場のコンパクト運営とは

問 選挙公約に「役場のコンパクト運営」とあった。昨年、社会教育課を増課しているが、これはコンパクト化なのか。

答 町長 課長が公民館長兼務であり教育委員会内における課長2名体制は変わらない。

問 コンパクト運営の考え方とは。

答 町長 システムの導入と外部企業の採用で行政コストを下げないこと。

問 認定こども園開園に向け学校教育課と町民課にまたがり進行中だがコンパクト化の考えは。

答 町長 国の制度であり、町だけの改革は時間が必要だ。

問 公民連携室の設置はどうか。

答 町長 地方創生事業推進の専門部署である、職員を増やすことなく設けた。

問 7級制導入と参事2名配置の必要性は。

答 町長 参事1名は特命担当参事であり課の枠を超え横断的な取り組みをし、1・5人分の仕事をする。

問 7級制により課長職に不公平感を感じるが。

答 町長 縦割り行政で自分の範囲しか守っていない。出る釘は打たれるというが、これからは出る釘でなければだめだ。

問 7級制により課長職に不公平感を感じるが。

答 町長 縦割り行政で自分の範囲しか守っていない。出る釘は打たれるというが、これからは出る釘でなければだめだ。

一般質問

一般質問



大友 三男 議員

駐車場を購入する理由は

多くの方が利用するため(町長)

問 昨年6月議会で、「おおよそ地域振興公社」が借りると説明していた駐車場を、なぜ8000万円で購入するかと変わったのか。

答 町長 町と駐車場業者の使用貸借期間が、6月30日で満了するため、取得や賃貸借について検討し、取得すると判断した。

問 町が土地を購入し駐車場を整備する場合、費用など議会の議決が必要だが、なぜ通常の手続きを経ずに購入する方法を取るのか。

答 町長 町のルールで整備すると翌年の完成になり、道の駅リニューアルオープンに間に合わないため。

問 町として比較する資料を作成し、どのような基準で工事が行われたか、工事現場に向いて確認したのか。

問 町内に住んでいる若い世代の定住策や、子育てしやすい環境の施策を、重点的に行うべきでは。

答 町長 18歳まで医療費無料・給食費無償化・保育料の軽減や、住宅支援策などを実施している。

若い世代に重点施策を

問 町長 問題がないと信じてお願いした。

問 この民間業者は、国道トンネル工事で施工不良や虚偽報告、民間談合などを行い、指名停止処分を複数回受けているが、信用出来るのか。

答 町長 民間業者から提出された資料を基に積算したところ、町で工事した場合9400万円となる。

問 地域整備課長 詳細な測量設計はしていない。民間業者から提出された書類だけで十分と判断し、工事現場には行っていない。

問 他の業者は4000万円ですと断言しているが、町が整備した方が、安価で済んだのではないかと。

答 町長 民間業者から提出された資料を基に積算したところ、町で工事した場合9400万円となる。



▲購入費8,000万円の費用対効果を期待する

住民バスの休日運行を

問 町民が望んでいる「土曜・日曜・祝日」の運行をすべきでは。

答 町長 平成26年、土日の試験運行で、乗車実績が少ない経緯があり、休日の運行は考えていない。



千葉 勇治 議員

国民健康保険税の均等割免除を

大郷町独自の制度を検討する(町長)

問 3月議会で検討約束の高校卒業まで「国民健康保険税の均等割免除」について、その後どのようなようになったのか。

答 町長 システム変更により多額の費用がかかるので変更はせず、「一時、均等割分も納税してもらい翌年にそれをお返しする」という大郷町独自の制度を検討していく。

問 検討で終わるのではなく、確実な実行の約束を求める。

答 町長 「若者定住促進」に取り組み、他の自治体に見劣りしない内容にということ担当課に指示する。



▲国保税の負担軽減で健康検診に弾みを

問 「町民第一主義」の本町で、地区担当職員を通じて各行政区長さんから町当局に出されている意見・要望への対処姿勢に問題はないか。

答 町長 町長決裁を経て翌月に担当職員が区長に回答を伝えていく。30年度に出された意見・要望の67・1%は解決済みで、緊急性の高いものから処理解決している。

区民の声を速やかに生かせ

問 町民が暮らしの中で不便・不安を抱き、区長さんを通じ早急な対策を求めている。西部の住民バス停付近の危険箇所改善など、もっと速やかな問題解決を。

答 町長 問題箇所が放置されているなら、庁舎内でもよく検討し、町民に迷惑をかけないように善処していく。

町民体育館の修繕を

問 平成29年6月議会で、総務産業常任委員会から、体育館の改修や新築について意見を出している。しかし、未だに波打つ床は放置されたままである。町民体育館の今後の活用についてどのように考えているのか。

答 教育長 小さな修繕でまだ使えるのであれば活用したい。今後、高齢者が安心して活用できるスポーツ施設として、社会福祉関係者とも連携を取りながら健康増進を進めていきたい。

一般質問

一般質問

議会改革調査特別委員会

4/8 5/9 5/14 6/5

【調査の概要】

- ・議会報告会について
- ・今後の議会運営について
- ・議会改革について
- ・議会定数について

【内容】

左記の件について、議論を深めた。
また、議会改革の推進及び議員定数については、今後も調査を継続していく。

次回定例会

みなさんの傍聴をお待ちしています

9月18日(水)から
午前10時～
10月4日(金)まで

議会の生の声を

議会の主な動き (4/1～6/30)

月日	用務	月日	用務
4/4	広報広聴常任委員会	5/25	大郷小学校運動会
4/6	大郷保育園入園式並びに進級式	5/27	議会運営委員会 (一社)大郷町シルバー人材センター定期総会
4/8	大郷小・中学校入学式 議会改革調査特別委員会	5/28	全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)
4/9	大郷幼稚園入園式		宮城県町村議会議長会議(東京都)
4/10	黒川地方市町村議会監事会・役員会(大和町)		黒川地域行政事務組合議会運営委員会(大和町)
4/15	広報広聴常任委員会		黒川地域行政事務組合議会臨時会(大和町)
4/22	教育民生常任委員会(社会福祉協議会)	5/30	黒川地方ゲートボール連絡協議会春季大会(大和町)
4/23	総務産業常任委員会	6/4～6/7	第2回(6月)定例会
4/25	大郷町ボランティア友の会総会	6/4	議会運営委員会・広報広聴常任委員会
	大郷町老人クラブ連合会総会	6/5	議会改革調査特別委員会
4/26	宮城黒川地方議会議長会定例会議(仙台市)	6/12	宮城県春季グランドゴルフ交歓大郷大会
5/9	議会改革調査特別委員会・議会運営委員会	6/16	大郷町消防団消防演習
5/10	春の交通安全運動大郷町開始式	6/17	茂登枝会総会並びに町政懇談会
5/14	議会改革調査特別委員会・公社に関する調査特別委員会	6/20	ほのぼの給食会
5/15	大郷町ゲートボール協会第11回春季町長杯大会	6/21	議員全員協議会
5/17	宮城黒川地方町村長・議長懇話会(松島町)		第3回(6月)臨時会
5/18	大郷町議会報告会(社会教育センター・ふれあいセンター)	6/23	東京都青梅市長・議長表敬訪問(東京都)
5/19	大郷町議会報告会(中村分館・中粕川分館)	6/24	広報広聴常任委員会
5/20	江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会総会	6/25	宮城県町村議会議長会議員研修会(仙台市)
	宮城黒川地方町村議会議長会臨時総会(利府町)	6/26～28	宮城黒川地方議会議長会議長視察研修(北海道)
5/21	議員全員協議会・総務産業常任委員会・議会運営委員会	6/27	宮城黒川地方議会議長会定例会議(北海道)
5/24	くろかわ商工会通常総代会(大和町)		特別巡回ラジオ体操
	黒川地方市町村議会連絡協議会総会(大衡村)	6/30	J Aあさひな通常総代会(大和町)

教育民生 常任委員会

4/22



▲スポーツを楽しむ会(ボウリング大会)

健康寿命の延伸を

【調査事件】

健康長寿への取り組みについて

【調査の概要】

社会福祉協議会、保健福祉課より健康長寿への取り組みについて説明を受け、調査を実施した。

【意見】

健康長寿対策事業として、元気アップ教室、スポーツを楽しむ会、サロン活動等を実施し、より多くの地域住民が参加できるように内容の企画や周知方法に工夫をこらしていた。
○この事業は目に見えて効果がわからないため、数値目標を設定し、福祉の現場を支える住民も含めた人材の拡充が必要と考える。
○各事業を継続的に実施するため、参加者の足となる交通手段の確保についても強化を図る必要がある。
○各単位老人クラブの会員が減少傾向にあるが、より一層、高齢者の健康づくり・介護予防活動などに対する支援を充実させ、支え合いのまちづくりを推進すべきである。
○健康寿命を延ばし、生きがいを感じて元気に過ごし、住んで良かったと実感できるまちづくりは町執行部だけでなく、議会も含め町全体での取り組みが必要である。

次回は

「認定こども園について」
を調査します。

総務産業 常任委員会

4/23



▲大窪城址配水池

有収率向上を

【調査の概要】

地域整備課より水道事業の概要、今年度実施事業、石綿セメント管更新事業について説明を受け、その後施設(配水池)の現地調査を実施した。

【意見】

○有収率が低い原因は漏水箇所が多数あるためと説明があったが、担当職員だけの調査は困難であるので、町民への協力を依頼し、漏水箇所早期発見に努め、有収率向上に努められたい。
○水道料金が県内で6番目に高い状況である。有収率向上などの諸問題に取り組み、水道料金の値下げに努力されたい。
○石綿セメント管の更新完了に14年必要ということであるが、他の施設や既存管の更新も計画される状況であるので、石綿セメント管の更新の早期完了に努力されたい。
○水道事業は送配水施設の経年化が進むにつれ、新施設更新時期など計画的に実施すべきであり、水道事業の県一本化に向け適格に対応できるように準備すべきである。
○以上の諸問題解決のためには、担当職員の増員も一つの解決策と思われる。

次回は

「防災対策について」
を調査します。

第3回議会報告会

共に考えましよう 未来の大郷を!!



(大松沢社会教育センター)



(ふれあいセンター)

第3回議会報告会に75名が参加(5月18日・19日)

令和元年度議会報告会を4ヶ所で開催し、46件の要望や意見がありました。今後の町政や議会活動に反映するよう努力します。

意見・要望

問 物産館の2階をさまざまな会合や懇親会ができる場所にしてほしい。
答 各種団体等や議会からも強い要望が出されている。町、公社に要望していく。

問 地元が発注した分館修繕にも50%の補助が受けられるのか。
答 今年度から、行政区で発注施行できるように改正された。工事完了後、50%を町が行政区に補助することになった。

問 認定こども園移行に伴う、送迎バスや幼稚園の先生の処遇等、問題がないようにしてほしい。
答 送迎バスは、3〜5歳児を対象に予定している。幼稚園の先生については、役場へ配置転換になる。

問 町の将来を見据え、基金の取り崩しを慎重に対応してほしい。
答 慎重に対応しています。

町からの回答

問 イノシシ対策として、電柵の設置を町の補助金で早急に。
答 目撃情報もあるので、対応を検討していく。

問 無形文化財の支援だけでなく、有形文化財の支援も考えるべき。
答 文化財保護審議会や地域に委託するなど保存保護に努めている。必要な支援があれば検討します。

問 議員定数について、今後議会はどうするのか。
答 議会改革調査特別委員会等において、今後も検討していく。

問 年3回の衛生消毒のあり方について、再考する時期では。
答 消毒を実施していない地区もあり、要望があった地区のみ薬剤配布を実施している。環境衛生組合長と協議の上、実施している。

問 ふるさと納税の返礼品について、もっと外部に宣伝されたい。ホームページやチラシなどを工夫してはどうか。
答 議会からも指摘している。周知方法についても、工夫をしながら対応しているところだ。

問 大松沢地区に農業法人や太陽光の会社が立地しているが、それぞれの代表の方と地区の人たちで懇談会を設けてみてはどうか。
答 区長等が中心となり、懇談の場を設けることで調整していく。町も協力してまいります。

問 台風等大雨時の、中粕川、土手崎、三十丁地区の避難場所を変更してほしい。
答 利府松山線の道路の嵩上げ工事完了後は、吉田川の川南地区に避難することも可能となります。

問 台風等大雨時の、中粕川、土手崎、三十丁地区の避難場所を変更してほしい。
答 利府松山線の道路の嵩上げ工事完了後は、吉田川の川南地区に避難することも可能となります。

こうしてほしい

意見
要望



その後どうなった… **第71回 追跡レポート**

防火水槽の更新を

無蓋防火水槽を計画的に耐震型有蓋防火水槽に更新されたい。
(平成29年度各種会計決算審査意見書書より)

防火水槽100基中、蓋がないものが50基ほどある。防火水槽については、消防署や消防団とともに安全点検を実施しており、無蓋防火水槽についてはフェンスの破損の有無なども確認し、安全に配慮している。
(平成29年度各種会計決算審査意見書書より)

その後の対応と今後の計画

町内すべての無蓋防火水槽を更新するには、多額の費用を要することから、耐用年数を経過するものから順次、計画的に改修を進めていきます。
また、昨年度は配水管更新工事に併せて、2基の消火栓を新設しており、今後も消防水利の整備、充実を図ってまいります。
総務課



倒壊危険住宅対策を図りたい

倒壊危険住宅を調査し対策を図りたい。
(平成29年度各種会計決算審査意見書書より)

平成29年度は調査を実施しなかったが、平成30年度に区長さんを通じて廃墟の調査を行った。
(平成29年度各種会計決算審査意見書答弁より)

その後の対応と今後の計画

空き家等の倒壊危険住宅については、周辺環境に大きな悪影響を及ぼす景観の問題等が懸念されます。町では行政区長等の協力をいただきながら空き家等の情報を収集し、現地調査を実施し、適正に管理されていない空き家等について所有者等に対し通知をしている。
適正に管理されていない空き家等は老朽化が進み、町民の生活を脅かす存在となる場合があることから今後も適切な啓発指導を行うとともに、庁舎内の関係部署とともに適切な対策を検討していく。
まちづくり政策課



▲適切な啓発指導を行う

8000万円で駐車場を取得

第3回臨時会が6月21日に開催され、財産の取得について審議し、賛成多数により原案どおり可決されました。

問 町長と信頼関係にある業者に、駐車場を整備させた。今後も特異な手法で事業を行っていくのか。
答 町長 今後もこういう手法を取れる範囲でやっていくことを明言する。
問 業者が提出した書類を基に、強度などは十分とされているが、購入する前に公共事業と同じように検査しないのか。不備が出た場合の保障は。
答 地域整備課長 購入前は町の土地ではなく、勝手に調査できないので、写真のみで確認した。
答 財政課長 保障について、契約の中で2年と謳っている。
問 駐車場を整備する場合の車止めなど、法的な安全性をクリアしていることを確認したのか。
答 地域整備課長 駐車場整備要綱などについて確認し、必要に応じて対応する。

討論

反対 大友三男議員
町長の独断で駐車場整備業者が決定されるなど、議会を軽視し不透明な経緯の駐車場購入は認められない。

反対 千葉勇治議員
町は利用者の安全を確保する義務がある。案内表示・安全設備・車止め・歩行者道路の確保や身体障害者に対する配慮など疑問がある。しっかりと調査してから再度提案すべき。



議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	熱海文義	石川壽和	若生寛	赤間滋	和賀直義	高橋重信	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦	
第3回臨時会	繰越明許費繰越計算書の訂正について																
	財産の取得について	可	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	-

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。



議会のココに注目!!

初 議 会

議会議員の任期満了に伴い、議員選挙が実施されます。新議員として、当選された方々で正副議長及び各常任委員長等を決定する重要な議会。
※今年は、9月定例会前に開催予定

町の産業に

インタビュー

安全安心な美味しい仙台牛



合同会社
村田ファーム
(大松沢)

なおとし
村田 直利 さん



種類と規模は？

黒毛和牛2000頭の飼育をしています。

始めたきっかけは？

両親がホルスタインの飼育を営んでいたのですが、高校卒業と同時に就農し平成元年、牛肉の輸入自由化を目前にして和牛飼育に転換し、今に至っています。

苦労していることは？

九州地方で発生した口

蹄疫や東日本大震災、繁殖農家の高齢化等により

素牛が全国的に減少したため、子牛価格の高止まりが経営を圧迫しています。

モットーは？

安全、安心はもとより、美味しさにこだわって日々研鑽しています。

嬉しいことは？

レストランや焼肉店で、自分の育てた牛肉に対し

消費者の良い評判を耳にしたときや、各種共進

会で良い評価を頂くと励みになります。

今後の目標は？

消費者に、「大郷町で育てた牛肉が食べたい」と指名していただくことと、10年後を目標に、法人としてスムーズな事業継承が出来ればと考えています。

編集後記

令和元年最初の議会をもって改選期を迎えます。

現在の委員が行う編集も、今回が最後となります。さまざま悩みながらも、少しでも読みやすい広報誌になるよう心掛け努力して参りました。いかがでしたでしょうか。

次期の編集委員にも繋がれた想い・繋ぐ想いを託し、バトンを渡したいと思えます。4年間ありがとうございました。

今後もしよろしくご愛読ください。 赤間 茂幸

広報広聴常任委員会

- 委員長 吉田 茂美
- 副委員長 赤間 茂幸
- 委員 大友 三男
- 委員 佐藤千加雄
- 委員 若生 寛
- 委員 和賀 直義
- 発行責任者 石川 良彦